

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

⑥ 経 済

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

次の（問題1）から（問題4）までの中から2つを選択し、問題番号を明記した上で解答しなさい。ただし、問題ごとに異なる解答用紙を用いること。

（各問題100点、合計200点満点。）

（問題1）

第二次・第三次の安倍晋三内閣におけるアベノミクスでは、戦前の高橋財政と同じく円安政策を行っていると言及されることがある。高橋財政での円安政策と、アベノミクスでの円安政策について、それぞれ具体的に説明するとともに、その相違点について論述しなさい。

（問題2）

近現代の日本における公害について1つ取り上げ、その発生原因、および企業・政府の対応について論述しなさい。

（問題3）

第二次世界大戦後における日本の産業政策について1つ取り上げ、その効果について論述しなさい。

（問題4）

以下の①～③の出来事から1つを選択し、その出来事について説明するとともに、それが日本の労使関係に与えた影響について論述しなさい。

- ①労働争議調停法の制定      ②春闘方式の確立      ③女子差別撤廃条約の批准